

和地ひとみレポート No.399

ワクチン接種予約がキャンセル時の新たな対応方針と今後の接種スケジュール
貴重なワクチンを無駄にしないようにするとともに
広がる接種対象への対応もスムーズに



■6月6日の苦い経験から

新たな対応方法を決定、公表

…5月8日から開始されている東大和市の新型コロナウイルスワクチン接種。当初は旧みのり福祉園を会場とした集団接種のみでしたが、現在ではかかりつけ医での接種＝個別接種も可能となり、集団と個別の2つの方法で進んでいます。また、東大和市では、国からの要請により、65歳以上のワクチン接種希望者全員への接種を7月末日までに終了させるべく、接種する日時と場所を増やしてワクチン接種を進めています。…一方で、初めてのことで、かつ、国の方針も様々変化することへの対応などにより、現場となっている市はバタバタしていることは否めません。東大和市では今まで大きなトラブルはないものの、6月6日には集団接種会場で2つのトラブルが発生してしまいました。

【6月6日に集団接種会場で発生したトラブル】

①不適切な接種1件

1回目の接種後から2回目の接種まで3週間の間隔が必要とされているところ、接種を受ける人が予約した内容に対し、接種会場での確認等が不足したため、5月29日の1回目の接種後から8日目となる6月6日に2回目の接種が行われてしまった。接種してしまった人については、接種後に体調不良がないことを医師により確認している。また、市は、東京都(福祉保健局)を通じて国(厚生労働省)へ状況の報告を行うとともに、2回目の接種を誤って受けてしまった人の健康をしっかりと支え、今後、このようなことが二度と起こらないよう再発防止対策を徹底している。

②一人分のワクチンの廃棄

5月8日の集団接種の開始から6月5日までの間、集団接種会場での予約のキャンセルは、ゼロから概ね2人で推移していたため、市は、看護師資格のある職員等に接種をすることでワクチンを廃棄することなく対応してきたが、6月6日は、6人のキャンセルがあり、そのうち数名が遅い時間帯での当日キャンセルだったため、ワクチンを他の人に接種するという対応が出来ず、一人分のワクチンを廃棄することになった。

…1つ目のトラブルの“誤って接種してしまった”というものは、接種された人の健康被害やワクチンの効果の変化などが懸念される場所ですが、今のところ市からその後の報告がないところを見ると、大きな害は発生していないと思います。

…一方で、見方を変えるとこの“誤って接種してしまった”ことにより、正規に接種する一人分が無駄になったともいえるとともに、2つ目のトラブルのワクチン廃棄も加えた場合、6月6日には正規接種2人分のワクチンが無駄になったともいえます。

…全国的に見ると、冷凍庫の電源が抜けてしまった等のトラブルで大量のワクチンを廃棄してしまった自治体もあるので、東大和市としては概ね順調にワクチン接種を進めているとも言えますが、市としてはこの6月6日のトラブルについて猛省しており、今後のキャンセルが出た場合のワクチンの取り扱いについて、新たな対応を下記の通り変更し、7月2日に公表しました。

【新型コロナウイルスワクチン接種の接種予約がキャンセルされた等の理由でワクチンが余剰となった場合の対応について】

接種予約がキャンセルされた等の理由でワクチンが余剰となる場合が生じた際、東大和市では、国の「新型コロナウイルスワクチンの余剰が発生した場合の取り扱いについて(令和3年5月25日厚生労働省健康局健康課予防接種室)」に基づき、これまでは対応してきた。しかし、今後も、接種予約のキャンセル等の理由でワクチンが余剰となることが想定されることから、その対応について改めて整理し、以下のとおり対応することとした。

◆下記の対象者の中から希望者には、事前に名簿登録をしてもらう。そして、接種者の選出については、当日のキャンセルの実態に応じて、名簿登録者の中から選出する。

- ①市内の幼稚園、保育園等の子ども・子育てに関する施設に従事する方
- ②市内の介護施設・障害者施設に従事する方
- ③旧みのり福祉園(集団接種会場)の近隣住民の方
- ④ごみ収集事業従事者
- ⑤(緊急的対応)ワクチン接種の関連業務に従事する職員、市民部、子育て支援部及び福祉部の窓口業務に従事する職員、その他の関係職員

※市内小・中学校の教職員については、東京都教育委員会に対応するため、対象者には含めない。

■ワクチン接種可能な対象が広がる中

…新型コロナウイルスワクチン接種に関する報道で、最近目立つのが、国からのワクチン供給不足の話題です。国の大規模接種センター(東京は大手町の自衛隊による接種センター)の開設や職域接種や大学での接種なども進み、64歳以下のワクチン接種希望者への接種が始まっていますが、国からのワクチンの供給が不足しているため、自治体での64歳以下のワクチン接種は足踏み状態となっています。(裏面に続く)

…職域接種や大学などでの接種については、市町村が交付するワクチン接種券が無くても接種が可能ですが、接種後に届いた接種券は、接種をした企業や大学に提出しなければなりません。また、国の大規模接種センターで個人的に接種を受ける場合は、年齢に関係なく接種券を持参しなければならず（インターネットで予約をする際、接種券の番号の入力は必須）、いずれにしても接種券が手元にあるのとないのとでは違いが出ます。

…東京都内の自治体の接種券の郵送方法は様々で、早い自治体では、65歳以上などの年齢の区切りをせず、対象となる16歳以上の人にいっぺんに接種券を送付しているところもあります。そのような自治体に住んでいる人は、早くワクチン接種をしたい場合、大規模接種センターで接種することも可能です。

■東大和市では、まずは個別対応

…このような状況の中、残念ながら東大和市では、未だ64歳以下の方に接種券は送付されていない状況。

7月5日には、16歳～64歳の市民に対し接種券を郵送予定ですが、まずは以下の条件のもと、希望する人には個別に接種券を発行しています。

【個別に接種券の発行を希望する場合】

下記の発行理由に該当し、新型コロナウイルスワクチンの接種を希望され、接種券の事前送付を希望される方には、個別に接種券を郵送する。

◆接種券発行理由

- ①市外の接種会場で新型コロナウイルスワクチンの接種を希望される方
- ②基礎疾患をお持ちの方で新型コロナウイルスワクチンの接種を希望される方（優先対象となる基礎疾患については、市のホームページで確認可能）
- ③高齢者・障害者施設等で業務に従事している方で新型コロナウイルスワクチンの接種を希望される方（対象者に関する詳細は市のホームページで確認可能）

◆申込方法

電話かメールのいずれかの方法で申込み。

申込後、1週間程度で接種券をご自宅宛てに郵送。

※土曜日・日曜日・祝日・夜間は、メールによる申込みのみ。

①電話による申込み

氏名・住所・生年月日・連絡先（電話番号）・上記の発行理由の該当するものを伝える。

東大和市新型コロナウイルスワクチンコールセンター

電話番号:042-563-8551

受付時間:午前8時30分から午後5時まで

※土曜日・日曜日・祝日は除く。

②メールによる申込み

氏名・住所・生年月日・連絡先（電話番号）・上記の発行理由の該当するものを明記。

メールアドレス:kenkou@city.higashiyamato.lg.jp

■今後の全体のスケジュールは

…また、7月1日には東大和市の16歳以上の市民に対するワクチン接種スケジュールが下記の通り公表されました。

対象者	接種券送付日	予約受付開始日	接種開始日
65歳以上	送付済	受付中	実施中
55歳～64歳	7月5日 (予定)	7月15日ごろ (予定) ※予定が早まる可能性がある。	予約受付開始日の数日後 (予定)
45歳～54歳		8月上旬ごろ (予定)	
35歳～44歳		9月上旬ごろ (予定)	
25歳～34歳		9月下旬ごろ (予定)	
16歳～24歳		9月下旬ごろ (予定)	

…なお、7月5日に送付予定の接種券は、6月14日時点での情報に基づいて作成されているため、例えば、6月15日以後に個別に接種券の発行をしてもらった人にも接種券が届く場合があるとのこと。また、東大和市では基礎疾患のある方と高齢者・障害者施設等で業務に従事している方については、7月1日から優先的に予約を開始しています。

…さらに、今、様々議論されている12歳～15歳の市民への接種について、東大和市の対応はスケジュールも方法もまだ確定しておらず、今後、国の通知等に基づいて慎重に進めるとのことです。

■手探りの中でも先手、先手で

…コロナ禍のような状態も、このような大規模なワクチン接種も初めてで、すべて手探りで対応せざるを得ない状況なのは理解できますが、やはり自治体によっての対応の違いに疑問や不満を持つ人が出てきてしまっているのが実情。例えば、中野区は16歳以上の区民全員に接種券を6月10日に発送。中野区在住の私の友人は「中野区に住んでいて良かったと思った」とのこと。もちろん、行政運営の良し悪しは接種券の発送方法だけで評価はできませんが、このような素朴な思いを持つ心情も理解できます。

…東大和市は、現在どころ大きな遅れは取っていませんが、今後も変化するだろう状況把握を積極的に行い、先手、先手で対応してほしいと思います。

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。コロナ禍において、駅頭での配布は一時、控えております。

【プロフィール】「私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。」

1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山あいの小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。『学校』の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク（※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換）に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。月刊誌『日経WOMAN』のベンチャー企業で活躍する女性特集で取り上げられる。その後、人材開発部長を拝命。『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後は、不動産投資会社にて企画業務、税理士対応、広報、社員研修、組織活性化などに従事。2011年4月、初当選。現在3期目。顔の見える議員として、日々奮闘中。



東大和市 市議会議員
和地 ひとみ

■ 連絡先

和地 ひとみ事務所

HP: <http://www.wachi1103.jp>

✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp

【電話・FAX】 042-516-8546

〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102